

データコネク (データ通信)

データコネクとは

- お使いの電話番号を利用して、接続先を指定し、1データ通信メディアストリーム^{※1}あたり最大1Mbpsで帯域確保^{※2}型のデータ通信が利用可能なサービスです。
- データコネク対応機器を利用し、フレッツ 光クロス、フレッツ 光ネクストまたは、一部の「コラボ光」(いずれもFTTHアクセスサービス)、ビジネススイーサー ワイドでご契約のひかり電話、ひかり電話オフィスタイプ、ひかり電話オフィスA(エース) (いずれもIP電話サービス) 契約者とデータ通信が可能です。

※1 メディア(音声・映像・データ)の情報を送信側から受信側へ伝達するためのデータの流れを「メディアストリーム」といいます。

※2 ある一定量の帯域を常に確保して通信を行うことを「帯域確保」といいます。

★双方がフレッツ 光クロス、フレッツ 光ネクストまたは、一部の「コラボ光」、ビジネススイーサー ワイドのいずれかとひかり電話サービスをご契約の上、各サービスに対応した情報機器等をご利用いただく必要があります。

安定性の高いデータ通信が利用できます

データコネク
対応機器同士で
利用可能

データ通信

DATACONNECT

通信料金

利用帯域 ~64Kbps	利用帯域 ~512Kbps	利用帯域 ~1Mbps	利用帯域 ~2.6Mbps	利用帯域 2.6Mbpsを超える
1.1円 /30秒	1.65円 /30秒	2.2円 /30秒	16.5円 /3分	110円 /3分

●他のサービスと組み合わせてご利用の場合、利用できないもしくは一部機能が制約される場合があります。

●データコネクの通信料はひかり電話サービスの音声通話料と異なります。

●データコネクと合わせて音声通話またはテレビ電話等を利用した場合には、同時に利用した通話・通信の帯域合計に対して、テレビ電話の料金で課金されます。

●データの送受信を行っている場合のみではなく、帯域を確保している間について課金されます。

ご利用上の注意事項

- データコネク(データ通信)のご利用にあたっては、フレッツ 光クロス、フレッツ 光ネクストまたは、一部の「コラボ光」、ビジネススイーサー ワイドのひかり電話サービスをご契約の上、データコネク対応機器が必要となります。法人向けひかり電話サービス対応機器についても、本サービスに対応した機器を利用する必要があります。

※データコネク対応機器の接続にあたり、法人向けひかり電話サービス対応機器の設定変更が必要な場合があります。

- 利用料金は利用帯域[※]に応じて課金されます。

※利用帯域とは、メディアストリームの帯域を指します。本サービスでは、データ通信メディアストリームを確立し、網が帯域を確保している間について課金が行われます。必ずしもデータの送受信を行っている場合のみではないことにご注意ください。

	利用帯域	通話・通信料金	課金単位
テレビ電話、通話、データコネク通信同時利用	利用帯域2.6Mbpsまで	16.5円	3分
	利用帯域2.6Mbpsを超える	110円	3分
データコネク	利用帯域~64Kbpsまで	1.1円	30秒
	利用帯域~512Kbpsまで	1.65円	30秒
	利用帯域~1Mbpsまで	2.2円	30秒
	利用帯域~2.6Mbpsまで	16.5円	3分
	利用帯域2.6Mbpsを超える	110円	3分

★通話・通信中に通信種別または利用帯域の変更があった場合には、同一の通信種別・利用帯域ごとに通話・通信時間の合計を算出し、該当する通信料を適用して料金計算いたします。

- 同一のチャンネル内で複数のメディアストリーム(音声・映像・データ通信)を利用した場合には、それらを合算した帯域に応じて課金されます。
- 同時に複数の接続先へデータコネク通信を行う場合は、複数チャンネルのご契約が必要となります。
- データコネク通信と音声通話・テレビ電話の接続先が同一の場合は、1つのチャンネルで同時に通信可能です。ただし、データコネク通信と音声通話・テレビ電話の接続先が異なる場合は、それぞれ別のチャンネルが必要となります。
- 利用するデータサイズによっては、契約チャンネル数分でデータコネクを利用できない場合があります。詳細は弊社営業担当者までお問い合わせください。

【1XY番号への発信】

104、110、119等の1XY系には、接続できません。

★データ通信メディアストリームでの発信で接続できなかった場合、音声で再発信するような端末については、接続できる場合があります。

「法人向けひかり電話サービス」とは、「ひかり電話オフィスタイプ」「ひかり電話オフィスA(エース)」(いずれもIP電話サービス)を指します。

他のオプションサービス等と合わせてご利用いただく場合の留意事項

■ボイスワープ ■一括転送機能

- ・データコネクト(データ通信)が転送可能な条件は以下の通りです。
- ①発信者がひかり電話サービスでデータコネクトを発信した場合であること。
- ②転送先が、データコネクトの接続が可能であること。
(転送先が端末条件等によりデータコネクトの接続不可の場合は、転送できず、エラーとなります)
- ③転送条件が、無条件転送もしくは話中時転送であること。
(無応答時転送の場合は、データコネクトの転送可否は、転送元端末に依存します)

■ナンバー・ディスプレイ

- ・標準音質の音声通話と同様に、着信時に表示します。

■ナンバー・リクエスト

- ・標準音質の音声電話と同様に、接続を拒否します。ただし、データコネクトの非通知発信の場合、ガイダンスは聞くことができません。
- ・ナンバー・リクエストの設定操作については、データコネクト端末ではなく、電話端末から行う必要があります。

■迷惑電話おことわりサービス

- ・「迷惑電話リスト」への登録は、標準音質の音声電話と同様に、迷惑電話を受けた直後に登録動作を行うことにより、同じ電話番号からの着信を拒否します。ただし、データコネクトの場合、着信拒否ガイダンスは聞くことができません。

■複数チャンネル

- ・契約チャンネル数に応じてデータコネクトを利用可能です。
- ★利用する帯域によっては、契約チャンネル数分でデータコネクトを利用できない場合があります。

■追加番号

- ・標準音質の音声通話と同様に、複数の電話番号(契約者電話番号+追加番号)で利用できます。

■着信お知らせメール

- ・標準音質の音声通話と同様に、着信情報を指定のメールアドレスに送信します。
- ・発信側端末から標準音質の音声による自動再接続を行った場合の着信についてもお知らせメール対象となります。なお、その際のお知らせメールは1通です。

■FAXお知らせメール

- ・データコネクトでの接続では利用できません。また、その際に、お知らせメールの送信やひかり電話設定サイト上のエラー表示も行われません。

■フリーアクセス・ひかりワイド

- ・データコネクトにて、着信課金番号(「0800」「0120」から始まる番号)への接続はできません。

■特定番号通知機能

- ・標準音質の音声通話と同様に、通信相手に対して、ご契約の着信課金番号(「0800」「0120」番号)または他事業者の着信課金番号等を通知します。